

新型コロナウイルス感染症に係る大会開催実施ガイドライン

R2. 9. 25

1 目的

このガイドラインは新型コロナウイルス感染症を踏まえ、読谷村教育長旗争奪沖縄県中学校ソフトボール大会の実施に関して、大会主催者において、参加者に対して感染症予防を持続的に行うための「新しい生活様式」の徹底を促す事により、一人一人が対策を行い安全に大会が運営できることを目的とする。

2 適用期間

大会名 : 第28回読谷村教育長旗争奪沖縄県中学校ソフトボール大会

適用期間 : 令和2年11月1日(日)から大会終了まで

※県内での新型コロナウイルス感染の広がりや、新型コロナウイルスに関する国の指針等を踏まえ、段階的に本ガイドラインの見直しを行うものとする。

3 当面の開催可否判断の目安

当面の間は、「緊急事態措置を実施すべき区域の変更等に伴う都道府県の対応について(令和2年5月14日事務連絡：内閣官房新型コロナウイルス感染症対策室長)」に準拠する。

4 大会開催実施についての方針

- ①3密(密閉・密集・密接)を可能な限り作らない環境を計画、準備し大会運営にあたる。
- ②大会参加を予定している者(生徒・保護者・運営者)において、発熱症状、咳込み、倦怠感、頭痛、味覚異常、その他体調不良がある場合は参加を行わない。
- ③大会参加者においては、自宅で必ず検温を行うことについて、開催通知・参加心得等を通じて周知徹底し、検温をしていない者、また、健康状態申告書(大会参加保護者同意書)の提出のない者の参加は認めない。
- ④会場入場者を制限する。選手(マネージャーを含む)とその保護者、学校職員、コーチ、部活動指導員のみ入場とする。事前に各顧問から健康状態申告書を受け取り、申告書を記載の上、当日顧問へ提出。
- ⑤観戦する保護者に対してコロナウイルス感染予防のための協力に関する呼びかけ(お知らせ)を前もって配布する。
- ⑥各会場に接待係を置かない。新たに「感染症予防係」を設置し、予防に関する業務を行う。
- ⑦ゴミは各自で持ち帰る。
- ⑧身なりチェックは行わない。試合開始、終了時の挨拶はベンチ前で行う。
- ⑨専門部は審判・役員の連絡先の把握、各学校の顧問においては参加生徒・保護者の連絡先を把握し、緊急連絡体制を確立する。
- ⑩本大会へ参加を予定している者が大会開催14日以内に感染件数が著しく増加している都道府県への訪問があった場合、参加はできないものとする。
- ⑪今後のコロナ情勢に変化が生じ難しいと判断された場合、やむを得ず大会中止もあり得る。

【選手、応援団に関すること】

- ①選手については、試合の前後に手洗いや消毒を充分に行う。使用する用具については試合前後に消毒を行う。
- ②各選手は、マイボトル（ペットボトル可）を準備する。チームで共有するスクイズボトルは使用しない。また、マイボトルやタオルなど個人が使用する持ち物は、チームでひとまとめにせず、生徒個人で管理をする。
- ③試合前後にコーチや審判、選手同士の握手などの接触行為を行わない。
- ④選手はウォーミングアップ・ゲーム中以外はマスクを着用する。
- ⑤応援は、マスクを着用し観戦する。大声を出しての応援や鳴り特等を使つての応援は禁止とする。

5 感染防止の為の方策

- ①会場入り口では、アルコール消毒液もしくは次亜塩素酸除菌液を設置し手の消毒を励行するが、その量に限りがあるため、各チームまたは個人（保護者含む）での準備を行う。
- ②観戦中の保護者においては、ソーシャルディスタンス・手洗い・水分補給等、会場アナウンスで協力の呼びかけを行う。
- ③大会終了後は、各専門部において使用した用具や会場を可能な限り消毒を行う。その際の消毒に係る予算は専門部から支弁する。
- ④観戦できる保護者の数は生徒1名に対し2入までとする。

- 6 資料①大会開催における感染症の対策の類型 別紙
資料②健康状態申告書（例） 別紙
資料③大会参加心得 別紙

健康状態申告書 (令和2年11月 日提出)

① 学校名：	中学校	(男子 ・ 女子) ソフトボール部
② 氏 名：		
③ 住 所		
④ 緊急連絡先		
⑤ メールアドレス		
⑥ 当日の体温		
⑦ 風邪症状	あ り ・ な し	
⑧ 14日以内の発熱・感冒症状での受診や服用	あ り ・ な し	
⑨ 感染が拡大している地域への14日以内の訪問歴	あ り ・ な し	

- ※1 収集した個人情報、目的達成のために利用し、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除き、他に利用及び提供することはしません。
- 2 参加者に感染者が出た場合における保健所の聞き取り調査への協力をお願い致します。
- 3 濃厚接触者となった場合は、14日間を目安に自宅待機をお願いすることがあります。

大会参加 保護者同意書

今大会参加に関し、大会参加心得を確認し感染拡大予防を理解し対策を行うことを理解した上で、同意致します。

また、大会参加によって万が一感染症に感染した場合でも、大会運営責任者、読谷村教育委員会に対し一切の責任を問いません。

令和 2 年 月 日

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

提出の流れ： 生徒・保護者 → チーム責任者(大会終了後2週間まで保管)

第 28 回 読谷村教育長旗争奪沖縄県中学校ソフトボール大会における感染症対策の類型

①リスクアセスメントとリスクマネジメント		
感染源		自宅で体温を測定し発熱していたら自宅待機入場者の把握、人数制限入場時の手指消毒（持ち込み対策）
感染経路対策	接触感染対策	入場時の手指消毒（持ち込み対策） 定期的な手指衛生環境衛生（手が触れる場所）
	飛沫感染対策	距離（1m、できれば2mを離す工夫）発声の機会を減らす（マスクの着用）咳エチケット 各チームの控え場所（昼食場所）の接近を防ぐ スタッフ・参加者の制限、こまめな手指消毒の実施
	エアロゾル・空気感染	定期的な換気頻繁に換気
②特徴的なクラスターに対するリスクマネジメント		
感受性と感染源	密閉空間なら換気を良く	換気設備の点検※可能な限り2ヵ所以上の開口部を使用することで効率よい換気を実現
	多数が手の届く距離に集まらない	会場入りする人員の管理
	近距離の会話・発声なし	大きな発声をさせない環境 →参加者同士の一定距離
その他	食事及び飲み物の持ち帰り（ゴミを出さない） 手指用消毒の準備、トイレの使用後の手洗いの徹底	
③クライシスマネジメント		
連絡先が確実な参加者名簿の作成濃厚接触者となり自宅待機要請がなされた場合への備え（事前説明、調整）参加者の移動記録化（できるだけ乗り合いをさける）		

大会参加保護者各位

第 28 回 読谷村教育長旗争奪沖縄県中学校ソフトボール大会参加心得

R2. 9. 25

生徒・保護者は下記の内容を熟読の上、大会の成功にご協力頂きたいと思ます。

- 1 大会参加を予定している者は3密（密閉・密集・密接）を可能な限り作らない環境・取り組みを理解し、大会運営に協力する。
 - ① 大会参加を予定している者（生徒・保護者・運営者）において、発熱症状、咳込み、倦怠感、頭痛、味覚異常、その他体調不良がある場合は参加を行わない。
 - ② 大会参加者においては、自宅で必ず検温を行い参加する。検温をしていない者の参加は認めない。
 - ③ 会場入場者を制限する。保護者は事前に各顧問から健康状態申告書を受け取り、設問に記入の上、各顧問へ提出する。
 - ④ 健康状態申告書は緊急時に使用し、競技終了2週間後に破棄する。
 - ⑤ 本大会へ参加を予定している者が大会開催14日以内に感染者数が著しく増加している都道府県への訪問があった場合、参加はできないものとする。
 - ⑥ 保護者（応援団）においても、マスクを着用し観戦する。
 - ⑦ 会場入り口では、アルコール消毒液もしくは次亜塩素酸除菌液を設置し手の消毒を励行するが、その量に限りがあるため、各チームまたは個人（保護者含む）で準備を行う。
 - ⑧ ソーシャルディスタンスを保ちながら観戦できるよう掲示板などで協力を求めるので運営に協力する。
 - ⑨ ゴミは各自持ち帰りとする。

大会当日の動き

- ①参加心得を確認し自宅で体温測定
 - ②体温を健康状態申告書に記載し顧問へ提出
 - ③マスクを着用し会場へ入場する
 - ④会場においてはプレー中以外はマスク着用
- * 緊急時に備え健康状態申告書は顧問が大会終了後2週間保管し、適正に破棄する

持ち物

- ① 健康状態申告書 ②マスク ③消毒用スプレー（除菌シート）等